



今こそ商店街の 浮揚策を実施せよ

大藪 健介 議員



船小屋鉱泉を温め医療温泉場を

問 大不況に陥ろうとしている今こそ、市独自の浮揚策を講じる時ではないか。
市長 商工観光課を中心に商工会議所、各商店街と行政と一体となって独自の施策に取り組んでいきたい。

問 報道等でプレミアム商品券が多く自治体で発売されている。筑後市でもすべての商店で利用できる商品券を発売すべきだ。

市内すべての商店で 利用出来る地域通貨 (商品券)を実施すべきだ

市長 商工会議所、商店街その他多くの店と連携を取り、他市の事例を十分検討し早急に議論したい。
商工観光課長 商工会議所と連携を取って、今話し合いを行っているところである。

健康医療用湯治温泉 で、地域おこしを

問 船小屋鉱泉には多くの炭酸、鉄分など健康にすぐれたものが含まれている。この鉱泉を温め医療温泉として取り組むべきだ。

市長 新幹線もあと2年で開業になる。この絶好のチャンスを生かしたい。今活
商工観光課長 活性化委員会を立ち上げる計画である。

上げ、市と地元、商工会議所等と密に連携しプロジェクトチームを作り21年度末までに結論をだし、地域おこしに協力する。

問 ヘルシーパルは県に取得していただき来年は開業予定であり、また県営公園はスポーツ公園として利用者が増大している。この地にぜひ温泉を掘るべきだ。
市長 民間で掘ってほしいが、だめな時には、市で掘る事を検討する。

一人暮らし高齢者に対する 生活支援は

佐藤 正利 議員

問 日本の高齢化は世界各国が経験したことのない速さで進んでいる。高齢社会では虐待や引きこもり、孤独死、自殺が大きな社会問題となっている。市は福祉政策の推進についてどのような考えているか。

市長 2015年の高齢者福祉を考える会に諮問しているが、結果的に地域全体で支えていく発想に立つ課題で検討を進めていくことが大事だと思う。

問 高齢者の20%近くは草取り、通院、外出に困っておられるが具体的な支援はどうしているか。
健康づくり課長 大変な事と認識している。本年度から県が「ひとり暮らし高齢者の見守りネットワーク構築支援事業」を始めたので市としても、今後取り組んでいきたい。

高齢者憲章を制定 する考えはあるか

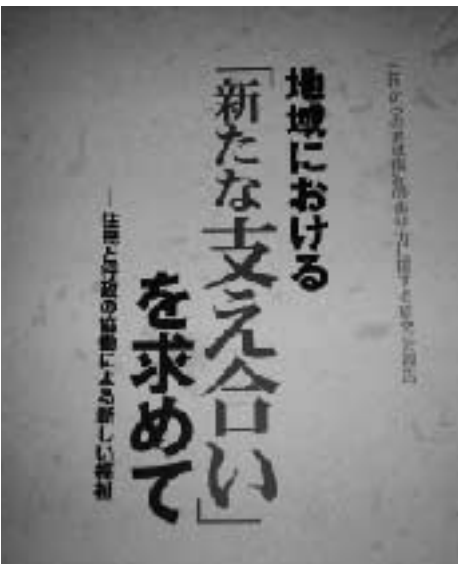
問 高齢者福祉は市民が支え合う連帯意識のもと、地域社会全体で支えていく必要がある。そのために高齢者憲章を制定する必要があると思うが考えを聞きたい。

市長 後期高齢者医療制度批判の中、年寄りが切り捨てられるという混乱が起きている。その意味において憲章が必要との思いになった。今後の課題だ。

下水道認可区域外に おける汚水処理対策は

問 下水道認可区域外における汚水処理の有効な施策となっている「浄化槽設置補助事業」での合併浄化槽の普及促進について考えを聞きたい。

市長 今後、財政的なことを考えると合併浄化槽に向けたシフトが強まると思う。環境整備に努力していきたい。



地域社会の再生は福祉から
(全国社会福祉協議会編)